



西山 富三郎 議員

町民に勇気と希望を与えたか

町長

持っていたいただいたと思う

〔西山〕一筋の道に起伏の3年間、町民から出発する行政運営であり、町民に勇気と希望を与えたか。

〔町長〕スピード感ある行政運営に努めた。合併後初の、人口社会増などの明るい話題もあり、町民の皆様には勇気と希望を持っていただいたと思うている。

〔西山〕ある市の職員は、「プランニングに机はいらない。必要なのは足と目、土地の人と対話する耳と口、土地の人の気持ちになり



つながりを育む

きる心だ。」と訴えている。実践はどうか。

〔町長〕行政運営においては、業務にあたる職員一人ひとりがまさに行政の耳目である。常に公平・公正な視点が見え、相互のバランスをはかることを忘れてはならないと考えている。

〔西山〕「ヒトは人間に生まれ、人間に生まれる。」と言われる。

〔教育長〕子どもは、つながりの中で育つのであって、周囲の人々との関係性の中で人間になると言われている。

老人に対する施策は

町長

多様なサービスを提供している

〔西山〕町長は子どもには力をいれるが年寄りには力をいれない、という声を聞く。

老人に対する認識と施策は。

〔町長〕65歳以上という健康状態や生活環境はさまざまである。現役で仕事についている人、社会活動を楽しんでおられる人、趣味や健康増進にいそしむ人もある。町としては、

元気で生きがいを持ち住み慣れた土地で暮らしていただきたいと願っている。介護保険サービスをはじめとして、個別相談、介護予防支援、生きがい支援、生活支援など、さまざま

なサービスを提供している。相談は地域生活支援センターが中心となっており、状況に応じたサービスを受けていただいている。

〔西山〕老人の孤独死対応は。

〔町長〕ひとり暮らしの高齢者世帯も増え、予防として民生委員の見守り、県の事業で中山間集落見守り活動や社会福祉協議会活動と連携し予防に努めている。



ペタンクの仲間たち